

長持ちした桜と街並み

今年の桜はずいぶん長持ちして、卒業式の頃から入学式、講義開始まで楽しんだ。いろいろな場所で桜をカメラにおさめた。左の写真は池下の高見小学校あたりの「水道みち」である。ここは樹齢数十年の桜並木が続いており、小学校時代から馴染みの桜道である。右は大学キャンパスの桜である。最近建った超高層マンションが写っているが、研究室からも季節の移り変わりを楽しんでいる。



左の写真は東山・新池の桜並木である。大学からの帰宅途中に撮ったが、花びらで白くなった薄暗い散歩道であり、なかなかの風情だ。右は名古屋の桜の名所として名高い山崎川であり、名残惜しい桜を求めて多くの人が散策していた。護岸工事がなされ、水に親しみながらの花見が楽しめるようになり、さすが名古屋有数の桜の名所という感じだ。



山崎川について、4月8日付朝日新聞・街道新話「塩付街道・山崎川 塩の往来残す川沿い春運ぶ」のなかで、見事な桜の写真とともに、朝日文左衛門などを紹介している。今年は桜を堪能できた春であったが、桜が散り始めると、ただちに夏が到来した。

(2009年4月13日 記)